

浜の活力再生プラン
令和 6 ～ 1 0 年度
第 3 期

1 地域水産業再生委員会

組織名	兵庫県地域水産業再生委員会坊勢部会
代表者名	部会長 竹 中 太 作 (坊勢漁業協同組合 代表理事組合長)

再生委員会の構成員	坊勢漁業協同組合、姫路市、兵庫県中播磨県民センター
オブザーバー	兵庫県漁業協同組合連合会

対象となる地域の範囲及び漁業の種類	兵庫県姫路市家島町坊勢地域 (448名) (令和5年10月末) 磯端漁業(122)・小型底びき網漁業(209)・機船船びき網漁業(58)・中型まき網漁業(4)・のり養殖漁業(25)・カキ養殖漁業(12)・魚類養殖漁業(13)ほか重複有り。()は経営体数
-------------------	---

2 地域の現状

(1) 関連する水産業を取り巻く現状等

<p>当地区は姫路港の沖合約 1 8 キロの家島諸島に属する坊勢島に位置し、島の主産業である漁業は古くから営まれており、好漁場と近隣の大消費地を背景に発展を遂げている。</p> <p>坊勢漁協の正組合員は現在 4 4 8 名で、近年の新規加入者減少により、平均年齢 (5 5 . 0 歳) は上昇傾向にあります。4 0 歳代未満は 1 7 . 3 % と高齢化が進む他地域に比べると、比較的若い年齢層で構成されている。</p> <p>漁業種類は、磯端漁業 (刺し網、カゴ網、小型定置網、イサリ等) 、小型底びき網、機船船びき網、中型まき網、のり養殖、カキ養殖、魚類養殖等、様々な漁業を展開しており、いずれの漁業も家島諸島周辺の播磨灘北西部海域で操業が行われている。</p> <p>対象魚種については、磯端漁業ではカサゴやメバル、マダコ、サザエ、ナマコ等沿岸性の魚介類、小型底びき網はカレイ類、エビ類、カニ、イカ、タコ等、機船船びき網漁業ではイカナゴ、シラス、中型まき網ではイワシ、アジ、サバが中心となっており、海面養殖ではノリ、カキ、ハマチ、アジ、サバが対象となっている。</p> <p>坊勢漁協の年間漁獲高は、令和 4 年度は 2 1 , 1 4 1 t 、 6 , 1 4 5 百万円で、過去 1 0 年間の平均 (平均漁獲高 2 0 , 0 3 7 t 、 5 , 7 1 9 百万円) と比較して漁獲量はほぼ横ばいとなり、漁獲金額は大幅に上まわった。漁獲金額が増えているのは、カキ養殖の増産、海苔養殖の増産ですが、一方で小型底びき網と船曳網は減少している。</p> <p>○漁業経営における問題</p> <p>*魚価：生産量</p> <p>当地区の漁獲物は少量多品目で規格も均一でないため、量販店で扱いにくい魚種が多く、大手量販店の進出や消費者の魚離れにより町の鮮魚店は次々と廃業に追い込まれるとともに、産地市場の買い受け人数は減少し続け、総じて価格は安価となってきている。</p> <p>磯端漁業は、過去 1 0 年間 (平成 2 5 年度～令和 4 年度) の平均漁獲量 2 6 2 t 平均漁獲金額 1 9 1 , 8 0 7 千円で、平均魚価は 7 3 1 円 / k g となっているが、それ以前の 1 0 年間 (平成 1 6 年度～2 5 年度) は、平均漁獲量 5 6 1 t 平均漁獲金額 4</p>

43,387千円で平均魚価は791円/kgと漁獲量は減少、魚価も下落している。

小型底びき網は、過去10年間（平成25年度～令和4年度）の平均漁獲量2,038t平均漁獲金額700,395千円であり、平均魚価は344円/kgとなっています。それ以前の10年間（平成16年度～25年度）の平均漁獲量2,514t、平均漁獲金額977,054千円で平均魚価は440円/kgと、本地区において比較的安定しているとされてきた磯端漁業、小型底びき網漁業がこの状況となり、先行きが不安視されている状況である。

機船船びき網漁業の魚価は、播磨灘東部海域及び大阪湾の好不漁により大きく変動し、不漁の場合は通常価格の5倍から10倍に達することもあり、またシラス漁については塩干卸業者の在庫状況により価格が変動するため、非常に不安定な状況が続いている。

又、近年イカナゴ漁の資源が減少しており、先行きが不安視されている。

中型まき網は、イワシ、アジ、サバが漁獲対象となっている。真イワシはほとんど漁獲がない状況が続いているが、片ロイワシを漁獲して畜養している。鯉一本釣りの撒き餌として一定の需要があるが、近年鯉漁船も減少傾向にある。春から夏に漁獲したサバは秋から冬にかけて養殖し「ぼうぜ鯖」ブランドで出荷することで付加価値を向上させ、又、未利用魚であった「ボラ」を利用し卵巣を「カラスミ」の原料として出荷することで、漁獲金額を維持している。

のり養殖は、水産業強化支援事業・強い水産業強化支援事業等により刈り取り船や大型乾燥機の導入を行い、作業の効率化と省エネ化に取り組みながら、他漁協との入漁協定による張り込み柵数増加により、海中栄養塩の低下による早期色落ち現象に対抗してした結果直近4年間は安定した漁獲量となっている。しかし、海苔の価格形成は、依然として海苔商社の在庫状況により大きく変動し、前年売れていた品質の海苔であっても今年は売れないという状況も珍しくないことから、生産量、価格とも不安定な漁業種類となっている。

カキ養殖は当地の漁場特性として、植物性プランクトンのごく少ない地域であるためカキの身入りが悪く、一時は13経営体が3経営体までに減少したが、平成23年度より本土側の好漁場を入漁契約に基づき利用できることとなり、現在は12経営体にまで復活した。紫外線殺菌等衛生的な生産体制確立に努力しているが、本土側に加工場を持つ7経営体以外は、殻付きカキの一般消費者への販売にハンディキャップを抱えている。カキの価格については、身は大きくなり重量当たりの作業効率は良くなったものの、新規着業が多いためロスも多く、単価的にはやや下降している。

* 漁場環境

本地区周辺の漁場環境は栄養塩が乏しく、坊勢島漁業集落では漁協と連携のうえ、離島漁業再生支援事業等にて海底耕耘による栄養塩の溶出や底質改善を行い、海底ゴミの持ち帰り事業を実施すると共に、漁業者にとって有害生物であるクラゲの駆除作業や魚礁設置、禁漁区の設定、イカ産卵床等の設置を積極的に実施し、稚魚育成場をフルに活用するうえ繁殖保護に努めている。

漁獲努力量の削減についても、入出港時間や定休日の設定、網の目合い制限等、以前より積極的に取り組んでいる。

近年の温暖化による環境の変化は、アサリ等を食害する有害生物のナルトビエイの増加や漁獲対象資源の減少に対して、少なからず影響を与えていると思われる。

小型底びき網の30年前の主要漁獲物5品目は、シャコ約357t、アナゴ約388t、小エビ約567t、赤シタ約384t、カレイ類約130tとなっている。磯端漁業ではカサゴ約5トン、メバル約4t、サザエ約9t、マダコ約76t、カワハギ約15tの漁獲があった。

令和4年度ではシャコ約0.2t、アナゴ0.1t、小エビ約73t、赤シタ約152t、カレイ類約42tと、小型底びき網の主要5品目は赤シタを除いて激減していることが分かる。尚、ハモについては約30tが約300tと増加をみせており、時期はずれに漁獲されることも多くなっている。

磯端漁業においてもマダコ以外は激減しており、代って高級魚であるキジハタが若干の増加を見せている。

***漁業経費**

漁業の経費は燃油価格により大きく左右されるが、現在の漁業は、船体はもとより漁具から出荷に至るまで石油製品に支えられており、漁労収入に占める漁労支出の割合は平成22年では64.8%に達している。

原油価格で言うと、ドバイ原油価格（単位：円／バレル）では、平成5年以降、平成15年まで3,000円／バレル以下で推移しましたが、平成16年以降に上昇し、令和5年には11,810円と約3.9倍まで達しているため、漁業者は漁船の低速走行や船底状態の改善による省燃油活動を実施している。また、こまめな漁具補修作業による漁具資材経費の削減や漁船、機関等の長期使用のため十分な管理を行うとともに、中古船や中古機関、オーバーホール等によりコストの抑制を図るとともに、のり養殖漁業者は協業化による省エネ機器導入：省エネ管の導入等や種網、ロープなどの漁具の十分な管理による経費の削減に努めている。

(2) その他の関連する現状等

収入向上対策

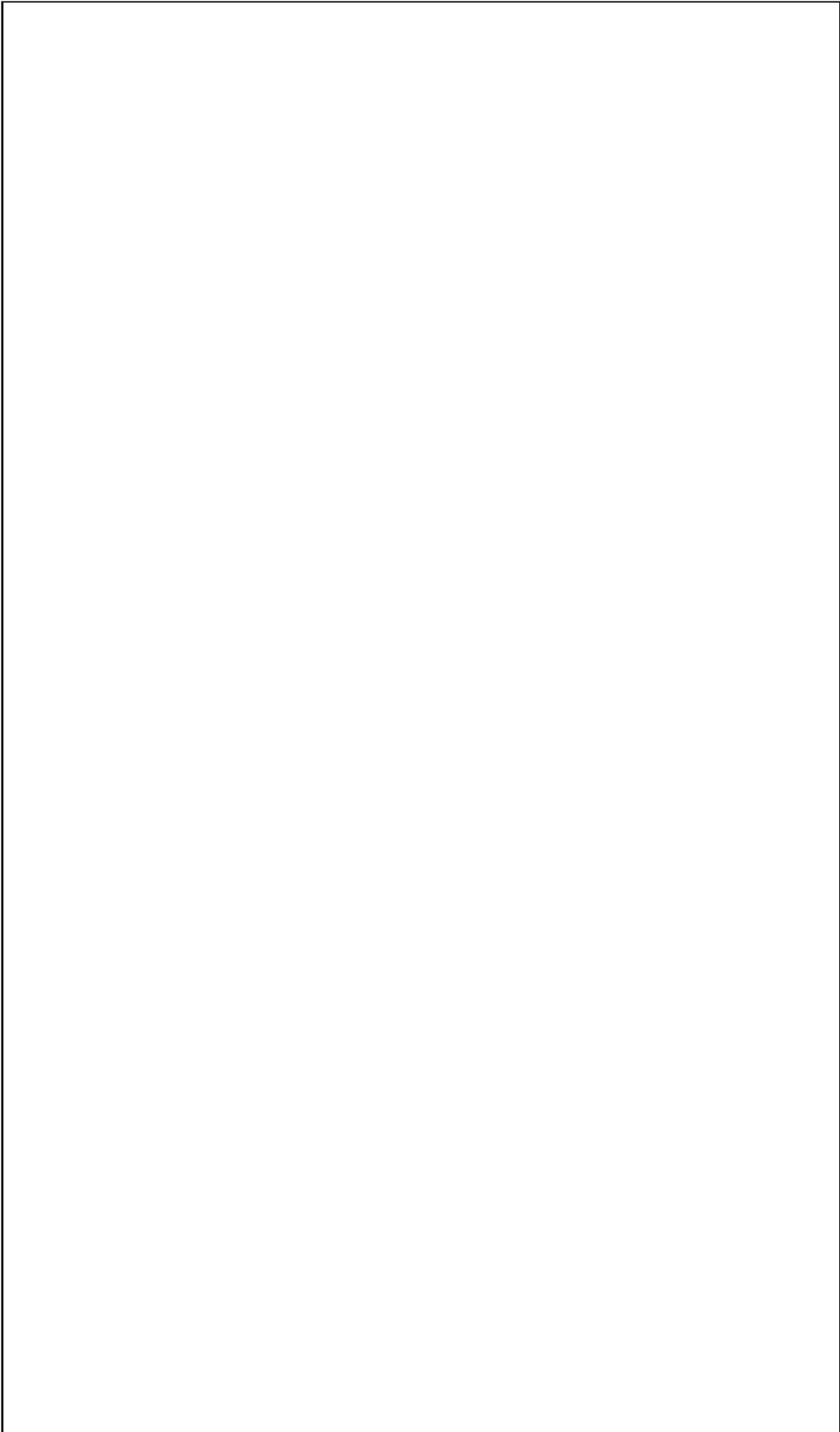
魚価の向上や魚食普及を図るため、姫路市の妻鹿漁港にて「姫路まえどれ市場」を整備し、活魚、鮮魚、加工品等を販売、兵庫西農協が運営する直売店との連携、販促活動を行っているほか、学校給食の食材納入にも行えるようになり、少量であるが加工品製造をおこなっている。

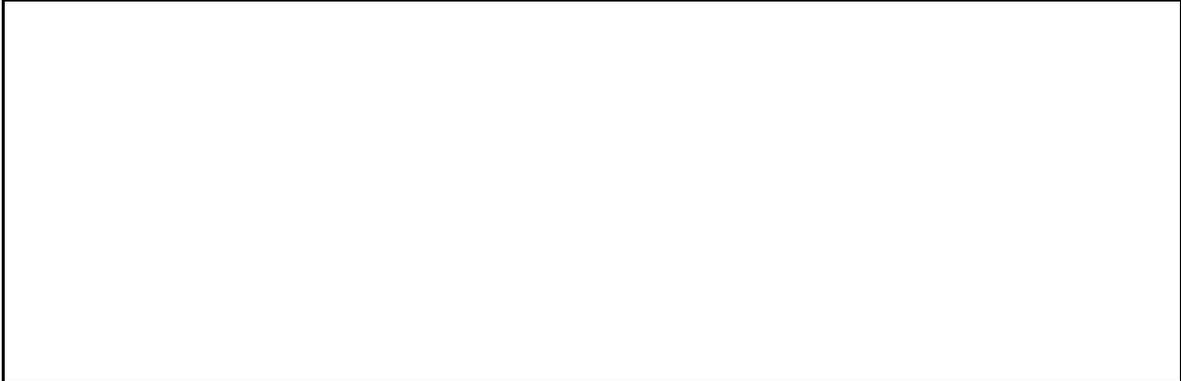
また、坊勢島漁業集落では年4回、本土側において「イベント」を開催し、農村や都市住民との交流を行っている。

3 活性化の取組方針

(1) 前期の浜の活力再生プランにかかる成果及び課題等

--





(2) 今期の浜の活力再生プランの基本方針

漁業収入向上対策

(1) 魚価向上や高付加価値化

- ①平均販売価格が高い海外輸出や国内遠方のスーパー等向けに、殻付き牡蠣を長期保存・輸送が可能な冷凍品として出荷することで、単価向上を目指す。また、販路の拡大に対応するため、養殖筏を増設する。
- ②ぼうぜ鯖は新鮮であれば刺身で食することが可能であり、飲食店向けとして需要があるので、姫路市内だけではなく、京阪神地区に出荷することで、販路拡大を目指す。
- ③姫路まえどれ市場で年間3回～4回イベントを開催し、無料試食会やプロの料理人による調理実演を行うことで、坊勢産魚介類の知名度と魚価の向上を目指す。
また、同市場内の食堂で周年、坊勢産魚介類を提供することで、坊勢産魚介類の認知度向上を目指す。
- ④坊勢地区では海藻類が未利用となっていることから、兵庫県漁連と連携しアカモクの商品開発を行いコープ等での販売を目指す。
- ⑤季節によって大量に漁獲される魚介類は低価格であり、あるいは廃棄されてしまうため、兵庫県漁連と連携し、新たな商品開発やプロトン凍結機を活用することで新たな流通形態を目指す。
- ⑥大型ノリ自動乾燥機や付帯施設を整備することで、単位時間あたりの生産枚数の増加と品質向上（異物混入等によるロス率の低減）を行い、生産量・生産金額の増加により漁業収入の向上を図る。

令和6年～令和10年の5年間で大型ノリ自動乾燥機や付帯施設を合計6件導入する。

(2) 漁場環境の保全活動や姫路市の漁港整備計画への参画

- ①海底の底質改善とノリの色落ち対策として海底耕耘作業を実施する。
- ②他港避難回避を通じた休漁時間短縮に伴う漁獲量の増大を図る。

(3) 海業により漁業者収入の拡大

- ①姫路まえどれ市場において漁獲物の販売数量及び単価向上を図る。
- ②姫路まえどれ市場のBBQ施設を活用し漁獲物の販売数量及び単価向上を図る。
- ③漁業体験見学船を活用し、漁業体験見学に協力する漁業者に謝金を支払うことや、漁業者が乗客に坊勢島で食事を提供することで、漁業者の収入拡大を図る。

漁業コスト削減対策

(1) 省エネ活動等による省コスト化

- ①全ての漁業者は、最も燃料消費の低い速度で航行するとともに、定期的な船底清掃を徹底し、使用する燃油量の削減を図る。
- ②最新の省エネ技術を活用した省エネ型漁船、省エネ型エンジン、省エネ機器、LED照明の導入を計画的に推進する。
令和6年～令和10年の5年間で省エネ型漁船、省エネ型エンジン、省エネ機器、LED照明を合計で30件導入する。
- ③高性能な刈り取り船を導入し、作業効率を向上させ、人件費の削減を図る。
令和6年～令和10年の5年間で高性能な刈り取り船を合計5件導入する。
- ④姫路市が行った漁港整備により、荒天時の漁業者の他港避難回避を通じた燃油量削

減を図る。

(2) 施設の共同利用による合理化

①雨天作業場、漁具倉庫、ノリ集荷選別所を共同利用することで、漁業経費削減を図る。

(3) 漁業セーフティネットの活用

①漁獲共済及び積み立てふらすと漁業経営セーフティネット構築事業への加入を促進し、不漁時の収入安定化と燃油価格高騰時に備える。

漁村の活性化のための取組

(1) 漁業人材育成確保

① 新規就業者の確保及び新規就業者のスキルアップを図るため漁業者の小型船舶操縦士免許取得等の講習会参加を支援

(2) 交流人口の拡充

① 漁業体験見学船を活用し、坊勢島への集客向上を図る。

(3) その他の取組

① 漁業体験見学船に小学生を募集し、漁業や漁場環境、坊勢地区での取り組みについて説明を行い、若年世代に漁業への関心を高める。

(3) 資源管理に係る取組

兵庫県知事が認定する資源管理協定に基づく自主的管理措置の実施による資源保護を図る。

持続的養殖生産確保法に基づく漁場改善計画を策定し、水質、底質の管理を行い、持続的な養殖生産の確保を図る。

漁場環境改善のため、坊勢島漁業集落では漁協と連携して、離島漁業再生支援交付金事業等により海底耕耘による沈殿した栄養塩の溶出や底質改善、海底の環境改善のため、ナイロン、空き缶、その他障害物の持ち帰り事業を実施するほか、近年、大量に発生し漁場環境や漁労作業等に弊害をもたらす赤クラゲ、ミズクラゲの駆除や投石魚礁、イカ産卵床、ナマコ床等の積極的な設置を行う。このほか、兵庫県及び姫路市が実施する大規模、並型魚礁に加え幼稚仔育成場をフルに活用し、マコガレイ、ヒラメ、車エビ、ガザミ、アワビ等の稚魚放流、漁獲努力量削減のため禁漁区の設定、休漁日の設定、目合い制限、出漁時間制限等を実施する。

(4) 具体的な取組内容

1年目（令和6年度） 所得向上率（基準年比）9.2%

ア) 漁業収入向上のための取組	<p>(1) 魚価向上や高付加価値化</p> <p>①兵庫県漁連と連携し、旬の時期の牡蠣を冷凍し、国内向け20トン輸出用30トンの出荷を目指し、営業活動を行い新たな販路を開拓する。また、販路を拡大し消費が拡大することに対応するため、養殖用筏を増設する。</p> <p>② 京阪神地区の量販店等に営業に廻り、ぼうぜ鯖の需要の調査を行う。</p> <p>③ 姫路まえどれ市場で年間3回のイベントを開催し、調理実演や無料試食を実施し、坊勢産魚介類のPR活動を行う。また、同市場の食堂では、坊勢産魚介類を周年提供する。</p> <p>④ 兵庫県漁連と連携し、坊勢産アカモクの商品開発を行う。</p> <p>⑤ 8月～9月にかけて大量に漁獲される大型なハモや、5月～6月のマダイ、サワラ等について、兵庫県漁連と連携して新たな商品開発を行い、全国のコープと商談を行う。</p> <p>⑥ ノリ漁業者体が大型ノリ自動乾燥機の付帯施設を導入する。</p> <p>(2) 漁場環境の保全活動や姫路市の漁港整備計画への参画</p> <p>①海底からの栄養塩溶出（ノリの色落ち緩和策）と底質改善を目的として、海底耕耘事業を年間延べ1,000隻で実施する。</p> <p>②姫路市が策定する漁港整備計画に参画し漁港を計画的に利用する</p>
-----------------	--

	<p>ことで、他港避難回避を通じた休漁時間短縮に伴う漁獲量の増大を図る。</p> <p>(3) 海業により漁業者収入の拡大</p> <p>① メディアをフル活用し、姫路まえどれ市場の認知度を向上させ、坊勢島産魚介類の扱い数量の増大を図る。</p> <p>② 姫路まえどれ市場でのBBQ施設で坊勢島産魚介類を提供する。</p> <p>③ 漁業体験見学船事業を旅行社と提携することにより、実施回数を増加させ、協力漁業者の収入増加を目指す。</p>
イ) 漁業コスト削減のための取組	<p>(1) 省エネ活動等による省コスト化</p> <p>① 減速航行及び船底清掃を徹底し、燃油燃油量の削減に努める</p> <p>② 省エネ型漁船、省エネ型エンジンの整備を検討・導入する。</p> <p>③ 高性能な刈り取り船の整備を検討・導入する。</p> <p>④ 荒天時の漁業者の他港避難回避を通じた燃油量の削減に努める。</p> <p>(2) 施設の共同利用による合理化</p> <p>① 雨天作業場、漁具倉庫、ノリ集荷選別所を共同利用することで、漁具を適正に維持管理し、ノリ出荷時間を短縮することにより、漁業経費の削減に努める。</p> <p>(3) 漁業セーフティーネットの活用</p> <p>① 漁獲共済及び積み立てぶらすと漁業経営セーフティーネット構築事業への加入を促進する。</p>
ウ) 漁村の活性化のための取組	<p>(1) 漁業人材育成確保</p> <p>① 漁業就業支援フェアに兵庫県漁連が出展していることから、そのブースを活用し、また、講習会参加を支援することで、新規漁業就業者の確保に努める。</p> <p>(2) 交流人口の拡充</p> <p>① 漁業体験見学船事業を年間109回の実施を目指し、そのうち半数を坊勢島への上陸プランを実施する。</p> <p>(3) その他の取組</p> <p>① 姫路市内の小学校に対し、年間20校の漁業体験見学事業の実施を目指す。</p>
活用する支援措置等	<p>競争力強化型機器等導入緊急対策事業(国)イ)(1)②</p> <p>ALPS処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援事業(国)イ)(1)①、イ)(1)②</p> <p>水産業強化支援事業(国・県・市)ア)(1)⑥</p> <p>離島漁業再生支援交付金事業(国・県・市)ア)(2)①</p> <p>水産基盤整備事業(国)ア)(2)②、イ)(1)④</p> <p>経営体育成総合支援事業(国)ウ)(1)①</p> <p>漁業経営セーフティーネット構築事業(国)イ)(3)①</p>

2年目(令和7年度) 所得向上率(基準年比) 11.8%

ア) 漁業収入向上のための取組	<p>(1) 魚価向上や高付加価値化</p> <p>① 兵庫県漁連と連携し、旬の時期の牡蠣を冷凍し、国内向け20トン輸出用30トンの出荷を目指し、前年度の営業で得られた情報を踏まえながら営業活動を行い新たな販路を開拓する。また、販路を拡大し消費が拡大することに対応するため、養殖用筏を増設する。</p> <p>② 京阪神地区の量販店等に営業に廻り、ぼうぜ鯖の需要の調査を行う。</p> <p>③ 前年度のイベント等で得られた意見を踏まえながら、姫路まえ</p>
-----------------	--

	<p>どれ市場で年間3回のイベントを開催し、調理実演や無料試食を実施し、坊勢産魚介類のPR活動を行う。また、姫同市場の食堂では、坊勢産魚介類を周年提供する。</p> <p>④ 兵庫県漁連と連携し、坊勢産アカモクを使用した新商品を全国のコープに販売する。</p> <p>⑤ 時期によって大量に漁獲されるハモやマダイ、サワラ等について、前年度までに開発した商品に加え、新たな商品を検討・開発しながら全国のコープとの商談を進める</p> <p>⑥ ノリ漁業者体が大型ノリ自動乾燥機や付帯施設の整備を検討・導入する。</p> <p>(2) 漁場環境の保全活動や姫路市の漁港整備計画への参画</p> <p>① 海底からの栄養塩溶出（ノリの色落ち緩和策）と底質改善を目的として、海底耕耘事業を年間延べ1,000隻で実施する。</p> <p>② 姫路市が策定する漁港整備計画に参画し漁港を計画的に利用することで、他港避難回避を通じた休漁時間短縮に伴う漁獲量の増大を図る。</p> <p>(3) 海業により漁業者収入の拡大</p> <p>① メディアをフル活用し、姫路まえどれ市場の認知度を向上させ、坊勢島産魚介類の扱い数量の増大を図る。</p> <p>② 姫路まえどれ市場でのBBQ施設で坊勢島産魚介類を提供する。</p> <p>③ 漁業体験見学船事業を旅行社と提携することにより、実施回数を増加させ、協力漁業者の収入増加を目指す。</p>
<p>イ) 漁業コスト削減のための取組</p>	<p>(1) 省エネ活動等による省コスト化</p> <p>① 減速航行及び船底清掃を徹底し、燃油燃油量の削減に努める</p> <p>② 省エネ型漁船、省エネ型エンジンの整備を検討・導入する。</p> <p>③ 高性能な刈り取り船の整備を検討・導入する。</p> <p>④ 荒天時の漁業者の他港避難回避を通じた燃油量の削減に努める。</p> <p>(2) 施設の共同利用による合理化</p> <p>① 雨天作業場、漁具倉庫、ノリ集荷選別所を共同利用することで、漁具を適正に維持管理し、ノリ出荷時間を短縮することにより、漁業経費の削減に努める。</p> <p>(3) 漁業セーフティーネットの活用</p> <p>① 漁獲共済及び積み立てぶらすと漁業経営セーフティーネット構築事業への加入を促進する。</p>
<p>ウ) 漁村の活性化のための取組</p>	<p>(1) 漁業人材育成確保</p> <p>① 漁業就業支援フェアに兵庫県漁連が出展していることから、そのブースを活用し、また、講習会参加を支援することで、新規漁業就業者の確保に努める。</p> <p>(2) 交流人口の拡充</p> <p>① 漁業体験見学船事業を年間109回の実施を目指し、そのうち半数を坊勢島への上陸プランを実施する。</p> <p>(3) その他の取組</p> <p>① 姫路市内の小学校に対し、年間20校の漁業体験見学事業の実を目指す。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<p>競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国）イ）（1）②</p> <p>ALPS処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援事業（国）イ）（1）①、イ）（1）②</p> <p>水産業強化支援事業（国・県・市）ア）（1）⑥</p> <p>離島漁業再生支援交付金事業（国・県・市）ア）（2）①</p>

水産基盤整備事業（国）ア）（２）②、イ）（１）④ 経営体育成総合支援事業（国）ウ）（１）① 漁業経営セーフティーネット構築事業（国）イ）（３）①
--

3年目（令和8年度） 所得向上率（基準年比）14.4%

ア) 漁業収入向上のための取組	<p>(1) 魚価向上や高付加価値化</p> <p>①兵庫県漁連と連携し、旬の時期の牡蠣を冷凍し、国内向け20トン輸出用30トンの出荷を目指し、前年度の営業で得られた情報を踏まえながら営業活動を行い新たな販路を開拓する。また、販路を拡大し消費が拡大することに対応するため、養殖用筏を増設する。</p> <p>② 京阪神地区の量販店等に営業に廻り、ぼうぜ鯖出荷を行う。</p> <p>③ 前年度のイベント等で得られた意見を踏まえながら、姫路まえどれ市場で年間3回のイベントを開催し、調理実演や無料試食を実施し、坊勢産魚介類のPR活動を行う。また、同市場の食堂では、坊勢産魚介類を周年提供する。</p> <p>④ 兵庫県漁連と連携し、坊勢産アカモクの商品開発を行う。前年の結果を踏まえ、見直しを行いながら取り組んでいく。</p> <p>⑤ 時期によって大量に漁獲されるハモやマダイ、サワラ等について、前年度までに開発した商品に加え、新たな商品を検討・開発しながら全国のコープとの商談を進める。</p> <p>⑥ ノリ漁業者体が大型ノリ自動乾燥機や付帯施設の整備を検討・導入する。</p> <p>(2) 漁場環境の保全活動や姫路市の漁港整備計画への参画</p> <p>①海底からの栄養塩溶出（ノリの色落ち緩和策）と底質改善を目的として、海底耕耘事業を年間延べ1,000隻で実施する。</p> <p>②姫路市が策定する漁港整備計画に参画し漁港を計画的に利用することで、他港避難回避を通じた休漁時間短縮に伴う漁獲量の増大を図る。</p> <p>(3) 海業により漁業者収入の拡大</p> <p>① メディアをフル活用し、姫路まえどれ市場の認知度を向上させ、坊勢島産魚介類の扱い数量の増大を図る。</p> <p>② 姫路まえどれ市場でのBBQ施設で坊勢島産魚介類を提供する。</p> <p>③ 漁業体験見学船事業を旅行社と提携することにより、実施回数を増加させ、協力漁業者の収入増加を目指す。</p>
イ) 漁業コスト削減のための取組	<p>(1) 省エネ活動等による省コスト化</p> <p>① 減速航行及び船底清掃を徹底し、燃油燃油量の削減に努める</p> <p>② 省エネ型漁船、省エネ型エンジンの整備を検討・導入する。</p> <p>③ 高性能な刈り取り船の整備を検討・導入する。</p> <p>④ 荒天時の漁業者の他港避難回避を通じた燃油量の削減に努める。</p> <p>(2) 施設の共同利用による合理化</p> <p>①雨天作業場、漁具倉庫、ノリ集荷選別所を共同利用することで、漁具を適正に維持管理し、ノリ出荷時間を短縮することにより、漁業経費の削減に努める。</p> <p>(3) 漁業セーフティーネットの活用</p> <p>①漁獲共済及び積み立てぶらすと漁業経営セーフティーネット構築事業への加入を促進する。</p>

ウ) 漁村の活性化のための取組	<p>(1) 漁業人材育成確保</p> <p>① 漁業就業支援フェアに兵庫県漁連が出展していることから、そのブースを活用し、また、講習会参加を支援することで、新規漁業就業者の確保に努める。</p> <p>(2) 交流人口の拡充</p> <p>① 漁業体験見学船事業を年間109回の実施を目指し、そのうち半数を坊勢島への上陸プランを実施する。</p> <p>(3) その他の取組</p> <p>① 姫路市内の小学校に対し、年間20校の漁業体験見学事業の実を目指す。</p>
活用する支援措置等	<p>競争力強化型機器等導入緊急対策事業(国)イ(1)②</p> <p>ALPS処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援事業(国)イ(1)①、イ(1)②</p> <p>水産業強化支援事業(国・県・市)ア(1)⑥、イ(1)③</p> <p>離島漁業再生支援交付金事業(国・県・市)ア(2)①</p> <p>水産基盤整備事業(国)ア(2)②、イ(1)④</p> <p>経営体育成総合支援事業(国)ウ(1)①</p> <p>漁業経営セーフティネット構築事業(国)イ(3)①</p>

4年目(令和9年度) 所得向上率(基準年比) 16.9%

ア) 漁業収入向上のための取組	<p>(1) 魚価向上や高付加価値化</p> <p>① 兵庫県漁連と連携し、旬の時期の牡蠣を冷凍し、国内向け20トン輸出用30トンの出荷を目指し、前年度の営業で得られた情報を踏まえながら営業活動を行い新たな販路を開拓する。また、販路を拡大し消費が拡大することに対応するため、養殖用筏を増設する。</p> <p>② 京阪神地区の量販店等に営業に廻り、ぼうぜ鯖の出荷を行う。</p> <p>③ 前年度のイベント等で得られた意見を踏まえながら、姫路まえどれ市場で年間3回のイベントを開催し、調理実演や無料試食を実施し、坊勢産魚介類のPR活動を行う。また、同市場の食堂では、坊勢産魚介類を周年提供する。</p> <p>④ 兵庫県漁連と連携し、坊勢産アカモクの商品開発を行う。前年の結果を踏まえ、見直しを行いながら取り組んでいく。</p> <p>⑤ 時期によって大量に漁獲されるハモやマダイ、サワラ等について、前年度までに開発した商品に加え、新たな商品を検討・開発しながら全国のコープとの商談を進める。</p> <p>⑥ ノリ漁業者体が大型ノリ自動乾燥機や付帯施設の整備を検討・導入する。</p> <p>(2) 漁場環境の保全活動や姫路市の漁港整備計画への参画</p> <p>① 海底からの栄養塩溶出(ノリの色落ち緩和策)と底質改善を目的として、海底耕耘事業を年間延べ1,000隻で実施する。</p> <p>② 姫路市が策定する漁港整備計画に参画し漁港を計画的に利用することで、他港避難回避を通じた休漁時間短縮に伴う漁獲量の増大を図る。</p> <p>(3) 海業により漁業者収入の拡大</p> <p>① メディアをフル活用し、姫路まえどれ市場の認知度を向上させ、坊勢島産魚介類の扱い数量の増大を図る。</p> <p>② 姫路まえどれ市場でのBBQ施設で坊勢島産魚介類を提供する。</p> <p>③ 漁業体験見学船事業を旅行社と提携することにより、実施回数を増加させ、協力漁業者の収入増加を目指す。</p>
-----------------	--

イ) 漁業コスト削減のための取組	<p>(1) 省エネ活動等による省コスト化</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 減速航行及び船底清掃を徹底し、燃油燃油量の削減に努める ② 省エネ型漁船、省エネ型エンジンの整備を検討・導入する。 ③ 高性能な刈り取り船の整備を検討・導入する。 ④ 荒天時の漁業者の他港避難回避を通じた燃油量の削減に努める。 <p>(2) 施設の共同利用による合理化</p> <ul style="list-style-type: none"> ①雨天作業場、漁具倉庫、ノリ集荷選別所を共同利用することで、漁具を適正に維持管理し、ノリ出荷時間を短縮することにより、漁業経費の削減に努める。 <p>(3) 漁業セーフティーネットの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ①漁獲共済及び積み立てぶらすと漁業経営セーフティーネット構築事業への加入を促進する。
ウ) 漁村の活性化のための取組	<p>(1) 漁業人材育成確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 漁業就業支援フェアに兵庫県漁連が出展していることから、そのブースを活用し、また、講習会参加を支援することで、新規漁業就業者の確保に努める。 <p>(2) 交流人口の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 漁業体験見学船事業を年間109回の実施を目指し、そのうち半数を坊勢島への上陸プランを実施する。 <p>(3) その他の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 姫路市内の小学校に対し、年間20校の漁業体験見学事業の実施を目指す。
活用する支援措置等	<p>競争力強化型機器等導入緊急対策事業(国)イ(1)② ALPS処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援事業(国)イ(1)①、イ(1)② 水産業強化支援事業(国・県・市)ア(1)⑥ 離島漁業再生支援交付金事業(国・県・市)ア(2)① 水産基盤整備事業(国)ア(2)②、イ(1)④ 経営体育成総合支援事業(国)ウ(1)① 漁業経営セーフティーネット構築事業(国)イ(3)①</p>

5年目(令和10年度) 所得向上率(基準年比)19.5%

ア) 漁業収入向上のための取組	<p>(1) 魚価向上や高付加価値化</p> <ul style="list-style-type: none"> ①兵庫県漁連と連携し、旬の時期の牡蠣を冷凍し、国内向け20トン輸出用30トンの出荷を目指し、前年度の営業で得られた情報を踏まえながら営業活動を行い新たな販路を開拓する。また、販路を拡大し消費が拡大することに対応するため、養殖用筏を増設す②京阪神地区の量販店等に営業に廻り、ぼうぜ鯖の出荷を行う。 ② 前年度のイベント等で得られた意見を踏まえながら、姫路まえどれ市場で年間3回のイベントを開催し、調理実演や無料試食を実施し、坊勢産魚介類のPR活動を行う。また、同市場の食堂では、坊勢産魚介類を周年提供する。 ③ 兵庫県漁連と連携し、坊勢産アカモクの商品開発を行う。前年の結果を踏まえ、見直しを行いながら取り組んでいく。 ④ 時期によって大量に漁獲されるハモやマダイ、サワラ等について、前年度までに開発した商品に加え、新たな商品を検討・開発しながら全国のコープとの商談を進める。
-----------------	---

	<p>⑤ ノリ漁業者体が大型ノリ自動乾燥機や付帯施設の整備を検討・導入する。</p> <p>(2) 漁場環境の保全活動や姫路市の漁港整備計画への参画</p> <p>① 海底からの栄養塩溶出（ノリの色落ち緩和策）と底質改善を目的として、海底耕耘事業を年間延べ1,000隻で実施する。</p> <p>② 姫路市が策定する漁港整備計画に参画し漁港を計画的に利用することで、他港避難回避を通じた休漁時間短縮に伴う漁獲量の増大を図る。</p> <p>(3) 海業により漁業者収入の拡大</p> <p>① メディアをフル活用し、姫路まえどれ市場の認知度を向上させ、坊勢島産魚介類の扱い数量の増大を図る。</p> <p>② 姫路まえどれ市場でのBBQ施設で坊勢島産魚介類を提供する。</p> <p>③ 漁業体験見学船事業を旅行社と提携することにより、実施回数を増加させ、協力漁業者の収入増加を目指す。</p>
<p>イ) 漁業コスト削減のための取組</p>	<p>(1) 省エネ活動等による省コスト化</p> <p>① 減速航行及び船底清掃を徹底し、燃油燃油量の削減に努める</p> <p>② 省エネ型漁船、省エネ型エンジンの整備を検討・導入する。</p> <p>③ 高性能な刈り取り船の整備を検討・導入する。</p> <p>④ 荒天時の漁業者の他港避難回避を通じた燃油量の削減に努める。</p> <p>(2) 施設の共同利用による合理化</p> <p>① 雨天作業場、漁具倉庫、ノリ集荷選別所を共同利用することで、漁具を適正に維持管理し、ノリ出荷時間を短縮することにより、漁業経費の削減に努める。</p> <p>(3) 漁業セーフティーネットの活用</p> <p>① 漁獲共済及び積み立てぶらすと漁業経営セーフティーネット構築事業への加入を促進する。</p>
<p>ウ) 漁村の活性化のための取組</p>	<p>(1) 漁業人材育成確保</p> <p>① 漁業就業支援フェアに兵庫県漁連が出展していることから、そのブースを活用し、また、講習会参加を支援することで、新規漁業就業者の確保に努める。</p> <p>(2) 交流人口の拡充</p> <p>① 漁業体験見学船事業を年間109回の実施を目指し、そのうち半数を坊勢島への上陸プランを実施する。</p> <p>(3) その他の取組</p> <p>① 姫路市内の小学校に対し、年間20校の漁業体験見学事業の実施を目指す。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<p>競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国）イ）（1）② ALPS処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援事業（国）イ）（1）①、イ）（1）② 水産業強化支援事業（国・県・市）ア）（1）⑥、イ）（1）③ 離島漁業再生支援交付金事業（国・県・市）ア）（2）① 水産基盤整備事業（国）ア）（2）②、イ）（1）④ 経営体育成総合支援事業（国）ウ）（1）① 漁業経営セーフティーネット構築事業（国）イ）（3）①</p>

(5) 関係機関との連携

取り組みの効果が十分に発現されるよう、行政（兵庫県、姫路市）、系統団体（兵庫県漁業協同組合連合会、兵庫県漁業共済組合等）、地域団体（坊勢漁業協同組合）との連携を強固にするとともに、県内外の販売業者等とも連携を図る。
 また、根拠地漁港における水産基盤整備事業及び海岸堤防等老朽化対策事業の計画策定及び事業実施に協力し、漁港の維持管理を推進することをもって漁家資産及び住民の生命財産を守ることに協力する。

(6) 取組の評価・分析の方法・実施体制

1年に1回、毎年4月末に、坊勢部会の漁業種類ごとの代表者及び、兵庫県並びに姫路市が参画し取組に対する評価委員会を開催し、取組に対する評価、分析について、チェックシートをもとに行う。

4 目標

(1) 所得目標

漁業者の所得の向上10%以上	基準年		千円
			千円
	目標年		千円
			千円

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

(3) 所得目標以外の成果目標

①姫路まえどれ市場の来場者数の増加	基準年	平成30年度～令和4年度5中3平均： 379,487 (人)
	目標年	令和10年度： 382,160 (人)
②流通センターの販売取扱金額の増加	基準年	平成30年度～令和4年度5中3平均： 205,978 (千円)
	目標年	令和10年度： 226,576 (千円)

(4) 上記の算出方法及びその妥当性

<p>①基準年の来場者数は、姫路まえどれ市場の平成30年度から令和4年度の来場者数の5中3平均した数値を採用した。</p> <p>目標年の来場者はプラン期間中にイベントの開催や漁業体験見学事業を実践することにより、姫路まえどれ市場の来場者数の増加見込みを算定した。</p> <p>② 基準年の販売取扱金額は、流通センターの平成30年度から令和4年度の販売取扱金額の5中3平均した数値を採用した。</p> <p>目標年の取扱金額はプラン期間中に冷凍ガキやイベントの開催など販路拡大の取り組みを実践することにより、流通センターの販売取扱金額の増加見込みを算定した。</p>
--

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
水産業強化支援事業（国）	<p>のり養殖協業体の大型乾燥機・付属機器の導入、品質向上と増産による漁業収入増加</p> <p>のり養殖協業体の高性能海苔刈り取り船導入、作業効率向上による漁業経費削減</p>
水産基盤整備事業（国）	<p>漁港整備による荒天時の他港避難回避を通じた休漁時間短縮に伴う漁獲量の増大及び燃油代の削減</p> <p>漁港施設の長寿命化計画の策定及び漁港施設の補修による漁家財産の保全</p> <p>海岸保全施設の老朽化対策の計画的推進による漁家及び住民の生命財産の保護</p> <p>安心な水産物の品質確保や流通機能の強化に資する高度度衛生管理型荷さばき所、岸壁等の整備</p>
経営体総合支援事業（国）	<p>後継者の確保、養成</p> <p>新規就業者の免許取得等漁業者のスキルアップの支援</p>
漁業収入安定対策事業（国）	<p>漁業共済・積立ぷらすにより、収入が減少した場合の減収担保</p>
ALPS処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援事業	<p>省燃油活動等を通じた燃油コスト削減に向けた取り組みに対する支援</p> <p>漁業者による省資源化・有効利用等を通じた魚箱等コストの削減に向けた取り組みに対する支援</p> <p>省エネ性能に優れた機器等の導入に要する費用に対する支援</p>
漁業経営セーフティーネット構築事業（国）	<p>燃油価格や配合飼料価格が上昇した時に備える</p>

競争力強化型機器等導入緊急対策事業

被代替機と比較し生産性の向上や省力・省コスト化に資する漁業用機器等及び海上ブロードバンド用機器の導入を行う漁業者を支援します。また、生産性向上のために行う、人力作業の機械化も支援